

快適Life

節水を考えましょう！



泡切れのいい洗剤を使うのもおすすめです！

暑い夏。水をたくさん使いたくなっていますが、水道料金が気になりますね。そこで、身近にできる節水の知恵をご紹介します。

●水の使用時に、こまめに水を止める

洗面所で歯を磨いているとき、顔を洗うときなど、水を出しっぱなしにしていませんか？歯磨きの際は、歯ブラシを洗うときや、うがいでコップに水を入れるとき以外は水を止める、洗顔時は洗顔フォームなどを泡立てるとときや顔を洗い流すとき、必要な時以外は水を止めましょう。

●湯船のお湯を使う、残り湯を活用する

シャンプーのすすぎや最初に体を流すときなど、ためたお湯を使うのはいかが？後に入る家族のことを考え、湯船のお湯が極端に減らない程度のお湯を使い、最終的なすすぎをシャワーにすると、水の量を減らせます。また、風呂の残り湯は、外回りの掃除に使ったり、入浴剤を使つていなければ、植木などの散水に使うことで節水につながります。

●洗車をバケツ洗いにする！
ホースの水で洗いっぱなしにするより、バケツに水をためて洗うと大幅な節水につながります。



●最新の機能を使う！
食洗機は手洗いより効率良く洗うといわれているので、節水はもちろん、家の手間も減ります。最新の水栓は、手をかざせば吐水・止水ができる節水に効果的！トイレも節水タイプが主流。古いトイレよりも少ない水量で流せるので検討してみるのも良いですね！

節水につながる！便利アイテム

お皿や調理器具を洗うとき、スクレーパーで汚れがある程度すくうと、節水はもちろん、洗剤の節約に。シリコン製がおすすめです。ほかに、油が多い場合は固めて捨てる、カップ麺などの汁を流すとそれを流す水もムダなので、100円ショップなどにある汁を固める粉を使うと、そのまま捨てられて便利です♪

かんたんレシピ

漬けアジのビビンバ

タレに漬け込んだアジを、シンプルかつ手軽に仕上げた野菜のナムルとともに♪豪快に混ぜてお召し上がりください！



材料

(2人分)

- アジ(刺身用)…1尾、人参…1/4本、ほうれん草…1/4束、もやし…1/3袋
- A:コチュジャン・ごま油・醤油…各大さじ1/2
- B:ごま油…小さじ3、鶏ガラスープの素…小さじ1
- 卵黄…2個、ご飯…2膳、かいわれ大根…1/4パック、白いりゴマ…大さじ1/2

①アジは3枚におろし、骨、薄皮を取ってそぎ切りにし、混ぜ合わせたAに漬け込む。

②人参は千切りにし、ほうれん草は3センチ幅に切ってラップをかけ、電子レンジに1分かける。もやはラップをして電子レンジで1分かける。それぞれの野菜に、Bをゴマ油小さじ1、鶏がらスープの素小さじ1/3ずつ分けて混ぜ合わせる。

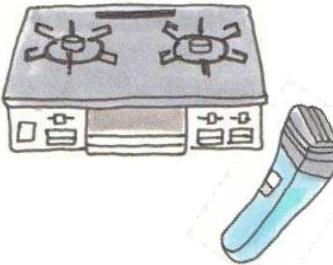
③器にご飯を盛り、①、②、卵黄をのせ、かいわれ大根を添えて、白いりゴマをかける。

※アジは刺身用の切り身を使うと手軽にできます。
※コチュジャンの辛みはお好みで調整してください。
※ビビンバはピビンバ、ビビンバなどいろんな呼び方があります。

ご存知ですか？

電池には大きさはもちろん、アルカリとマンガンといった違いも。そこで、電池の使い方や捨て方についてご紹介します！

■アルカリ電池とマンガン電池の特徴



アルカリ電池はほかに、ガスコンロ、シェーバー、懐中電灯、電子辞書、防犯ブザー、電動歯ブラシなどにも適しています。

●アルカリ電池の特徴
大容量で長持ちし、大電流を必要とする機器に適しています。
たとえば…頻繁に使うリモコンや時計、音楽プレイヤー、玩具など

●マンガン電池の特徴
容量が小さく、電圧が弱いものの、休み休み使うことで限度はあれ、多少電圧を回復することができます。
たとえば…使用頻度の少ないリモコン、懐中電灯など

■電池を使うときの注意点

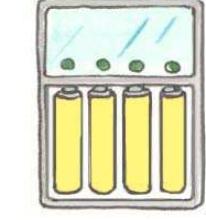
- アルカリとマンガンの併用はNG！お互い特性が違います。その長所が活かされません。
- 新旧での併用もやめましょう。古い電池のせいで全体の力が弱くなるほか、先に使った電池の液漏れにもつながります。
- もし、液漏れをしていたら、アルカリ電池の白い液は強いアルカリ性の電解液なので素手で触るのはNG！失明や化学やけどの危険があります。機器側についたら、すぐに濡れたティッシュなどで拭き取りを。白い粉が手に付かないよう、ビニール手袋などを着用することをおすすめします。

■電池の保管は10~25°Cがおすすめ

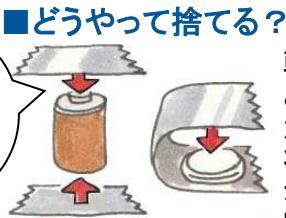


直射日光や高温多湿の場所は電池の寿命が短くなったり、液漏れを起こす恐れがあります。冷蔵庫での保管もおすすめしません。電池を取りだしたときに結露が発生し、錆の原因につながります。

■繰り返し使える充電池



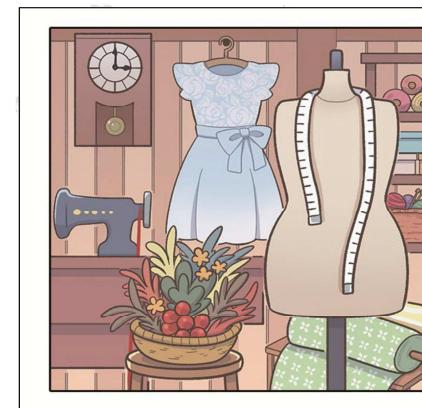
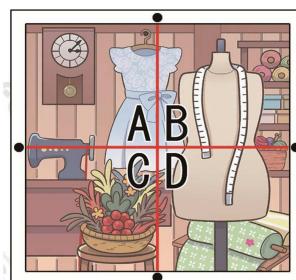
使い捨てが一次電池といわれ、二次電池といわれるのが充電して使う充電池。繰り返し使えるので経済的でゴミも減らせるので注目されています。



電池には使用推奨期限があります。期限後にも使えますが、大幅に過ぎたモノは処分したほうがいいかもしれません。

乾電池やボタン電池などを捨てるときは、電流が流れない状態（絶縁状態）にし、自治体の指示に従って処分を。充電池も端子部分にテープを貼り、協力店などに置かれたリサイクルボックスへ。

間違い探し



左右のイラストで違う箇所が5つあります。左の表から間違いの多いエリアをアルファベットで答えてください。

答えは左下にあります。